

# 家庭学習の手引き

No.4

鯖江市片上小学校

## 学習に関するアンケートより

高学年で行った学習に関するアンケート結果です。

### 1日の家庭での学習時間

時間	全くしない	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間～3時間	3時間以上
本校 (%)	0.0	8.0	40.0	36.0	8.0	8.0
県平均 (%)	1.4	7.1	27.7	40.5	17.5	5.8

### 1日にゲームをする時間（コンピュータ・テレビ・携帯ゲーム機等を使うもの）

冊数	全くしない	1時間未満	1時間～2時間	2時間～3時間	3時間～4時間	4時間以上
本校 (%)	4.0	32.0	24.0	24.0	16.0	0.0
県平均 (%)	12.8	32.2	26.6	14.7	7.2	7.0

### 1か月に読む本の冊数（マンガ・雑誌をのぞく）

冊数	ほとんど読まない	1～2冊	3～4冊	5冊以上
本校 (%)	8.0	16.0	48.0	28.0
県平均 (%)	18.8	29.6	24.0	27.5



学年や曜日によって差はあると思いますが、家庭での学習時間以上にゲームをしたり、テレビを見たりしている児童が多いようです。

また、読書に関しては県平均より多く読んでいるものの、学校評価アンケートで「家庭で本に親しんでいない」と6割の保護者の方が回答しています。ゲームをしたりテレビを見たりする時間をほんの少し読書習慣に使ってみませんか？

今回は、読書の効能や親しむための手だてについて考えたいと思います。一般的に読書をすることによって次のような効果があると言われています。

- ① 知識の広がり
- ② 文章に対する理解力の発達
- ③ 表現力の向上
- ④ 心の成長

どれも大切なことですが、昔から「読書は心を耕す」というように「心の成長」に与える影響は測り知れません。

- ・いろいろな人の立場になって物事を考えるトレーニングになります。
- ・体験できないことを疑似体験できます。
- ・主人公とともに、喜怒哀楽を感じることで、よりよい性格、行動や生き方を知ることができます。
- ・感情をコントロールする方法を知り、人生のさまざまな場面で気づかないうちに応用することができます。



読書には時間や空間を超えて人と人をつなぐ力があります。子どもたちがこれから人生を歩いていくうえで、辛いことや迷いに直面した時、良い本との出逢いは大きな心の支えや助けになることがあります。本に親しませることは、そんな将来の杖を持たせてあげることだといえるかもしれません。

では、読書に親しむためにはどうすればよいのでしょうか。それは、大人がかかわることだと言われています。具体的な例を挙げると、次のようなことです。

- ① 読み聞かせをする。
- ② 読書をする姿を見せる。
- ③ 子どもを図書館や本屋に連れていく。
- ④ 自分が出逢った面白いと思う本を教える。

きっと、おうちの方にも心に残っている1冊があるはずですよ。年月が経っても良い作品は世代を超えて子どもたちの心に何かを訴えます。また、高学年では、歴史物・科学物・偉人伝など、興味の傾向によって選ぶ本が分かれてくる時期でもあり、図書館などで多くの本に触れさせることが大切です。お忙しい中ですので、なかなかできないことがあるかもしれませんが、学年に応じた関わりをもっていただくと幸いです。

学校でも、朝学習の時間に読書タイムをとる、たくさん本を読んだ子をほめる、ブックトークや巡回図書、校外学習で市立図書館を利用する、教員が読みかせをするなど、積極的に読書活動を推進していきます。

#### <本の紹介>

- 『かわいそうな ぞう』土家由岐雄 、 『絵描きのミナミ』かわいすみ  
『とんことり』筒井頼子 、 『誰も知らない小さな国』佐藤さとる  
『大どろぼう ホツェンプロッツ』プロイスラー  
『ドリトル先生航海記』ロフティング、 他に、星新一のSFショートショート集等